



# 心と心でつながる

## ～手話で紡ぐ言葉の輪～



手話を一つの言語として、聞こえない人と聞こえる人が互いに尊重しながら共生する社会を目指す「群馬県手話言語条例」。その制定から10年。県や各自治体・団体などでは、手話の普及を推進するためにいろいろな取り組みを行っています。今回は手話がどんな言葉なのか、そしてその魅力とは、手話に関わるさまざまな人の思いと共に紹介します。

### 手話ってどんな言葉？

耳が聞こえない、または聞こえにくい人は、日常生活で情報を得ることが難しかったり、自分の気持ちや困っていることをうまく伝えられなかったりすることがあります。

手話は手の動き、顔の表情などで、情報や気持ちを伝える言葉です。

耳が聞こえない人は声で会話する代わりに、目で見て分かる手話で会話をします。

### 手話の普及・理解はなぜ必要？



聞こえないことは見た目で見えないため、困っていても周りの人に気付いてもらえない



外出先で車の音や呼び出し、放送が聞こえない



災害時に周囲の情報が入らないと逃げ遅れてしまう



うまく話ができなかったり相手の言っていることが分からなかったりするなどコミュニケーションが難しい

### 手話の魅力を伝えたい



おおさわ みらい 大澤 未来さん とう ろう 県立聾学校3年生 たかはし ゆかり 高橋 紫さん

### #SHUWANOWAにも出演している 県立聾学校の生徒に話を伺いました

#### 手話の魅力とは？

**高橋さん** 手話は手だけでなく、顔の表情など全身を使って表現する言葉です。喜びや悲しみなど相手の感情が分かりやすく、自分の気持ちも伝えやすいと思います。

#### #SHUWANOWAで伝えたいと思ったことは何ですか？

**大澤さん** SNSで手話動画を発信することで、より多くの人に聴覚障害について知ってもらい、聞こえる人にも手話が1つのコミュニケーション手段であることを知ってほしいと思いました。

#### 手話に関心を持っている人、これから知りたいと思っている人にメッセージをお願いします。

**大澤さん&高橋さん** たくさんの人に一緒に手話を学んでほしいので、簡単な手話から始めて、楽しく手話を覚えてもらえたらうれしいです。一緒に手話を学んでみませんか。

### #SHUWANOWA(手話の輪)

総再生回数10万回超え！いつでもどこでも簡単に手話を学べる動画「#SHUWANOWA」を県公式YouTubeチャンネル「ツルノス」ディックトックとTikTokで配信しています。

家庭や学校、職場など、みんなで手話の輪を広げましょう！



▲視聴はこちらから

### 手話にチャレンジ！

こんにちは

両手を目の前で交差し、次にさっと扇形に左右に開きます



軽くおじぎをしながら、両方の人さし指を向かい合わせて折り曲げます



どうしましたか

右手の人さし指を立てて左右に振ります



「何？」という意味

右手の平を見せながら前に出します(どうぞというように)



「ですか？」という意味

ありがとう

左手の甲に右手を立て、トントンと2回叩きます



右手を上にあげます



クローズ アップ  
**CLOSE UP**

**県広報番組「アニメの星☆」～高校生の夢に手話を乗せて～**



手話通訳を担当する **井出 磨弥さん**

県では、声優を目指す県内の若者を発掘・応援する県広報番組「アニメの星☆」に手話通訳を導入しています。

- ・シーズン2放送予定 11月～8年3月
- ・群馬テレビ 毎週火曜日 午後7時から



▲シーズン1の視聴はこちらから

私自身も毎回視聴者の一人として、夢に向かって挑戦している高校生を応援しています。高校生の頑張っている姿が手話を通して伝わるように自分なりに表現を工夫しています

スタート  
**START**

**手話リンク**

オンラインで手話通訳を介して電話で問い合わせができる「手話リンク」の運用を、県の代表電話で先月より開始しました。県ホームページ上の「手話で電話をする」ボタンを押すことで利用できます。  
**¥ 無料**(ただし通信料がかかります)



**人と人をつなぐ手話通訳**



高崎市社会福祉協議会  
やじまのりこ  
手話通訳者 **矢島 範子さん**

**つながることの喜び**

友人に誘われて、手話教室に通い始めました。手話を少しずつ覚えてきた頃、聞こえない人と実際に手話も使いながら会話する機会がありました。手話で会話することができた時に「つながることができた」といううれしさと、手話という言葉を使ってコミュニケーションを取る面白さを感じました。それがこれまで手話を続けてきた大きな原動力になっています。

**手話通訳者として架け橋に**

今は手話通訳者として、聞こえる人と聞こえない人の間に立ち、両者をつなぐ役割を担っています。両者の橋渡しをすることで、コミュニケーションが成立する、その瞬間に立ち会えることが、私にとってのやりがいです。  
 誰もが手話で会話することができ、通訳が不要になる社会が理想ではありますが、まずはもっと多くの人に、手話の魅力を知ってもらえたらうれしいです。

..... 「手話に触れる」 から 「手話で支える」 .....

初めて手話を学びたい人  
**手話サークル**

手話を学びながら、聞こえない人と直接触れ合い、心を通わせる楽しさを体験できます。見学はいつでも受け付けています。

問 各自治体・社会福祉協議会まで



初めて手話を学びたい人  
**手話奉仕員養成講座**

「手話奉仕員」は、手話を使って聞こえない人と聞こえる人のコミュニケーションを助けるボランティアです。各自治体で日常生活レベルの手話を学べる講座を行っています。詳しくは、各自治体にお問い合わせください。

「手話通訳」を学びたい人  
**手話通訳者養成研修**

「手話通訳者」は、手話を使って聞こえない人と聞こえる人のコミュニケーションを仲介する専門職です。県では前橋市・高崎市と共催で、毎年「手話通訳者養成研修」を実施しており、手話通訳技術を習得できます。  
 ▲詳しくはこちら



ニュース  
**NEWS**

**東京2025デフリンピック開催！**

11月15日(土)から26日(水)にかけて「デフアスリートの国際スポーツ大会」が日本で初めて開催されます。

大会をきっかけに、デフスポーツへの理解が広がり、インクルーシブ社会が実現していくことが期待されます。

【日本選手団・県関係の選手】(9月24日現在)

- ・ゴルフ競技 **辻 結名** 選手(高崎市出身)
- ・柔道競技 **深澤 優斗** 選手(前橋市出身)
- 高橋 朋希** 選手(伊勢崎市出身)

※「デフ(Deaf)」とは、英語で「耳が聞こえない」を意味する言葉です



東京2025デフリンピック大会エンブレム

聞こえる人と聞こえない人がお互いを尊重し合い、思いやりのあふれる社会をつくるための第一歩は、手話について知ること、そして関心を持つことではないでしょうか。

令和11年には第83回国民スポーツ大会・第28回全国障害者スポーツ大会「湯けむり国スポ・全スポぐんま」が開催され、手話ボランティアの活躍の場も広がります。

手話サークルを見学するなど、手話に触れてみませんか。

